



西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

印象に残る生徒（Ⅱ）

第40号からの続きで、今から30年近く前、市内の中学校で野球部の顧問をしていたときの部員T君の思い出について書きます。

（1）T君から学んだあきらめない姿勢

T君は小学校から野球をしていましたが、運動はあまり得意な方ではありませんでした。練習で長・短距離走をしても最後尾を走っていたり、筋トレをしてもあまり多くの回数ができなかったりして、周りについて行けず、どちらかという自分のペースで練習をするタイプの選手でした。また、ポジションはピッチャーで、3番手に投げるようなピッチャーでした。穏やかな性格で、下級生からも慕われていましたが、周りの部員からは、野球に関して「あまり上手ではない」という印象を持たれていました。T君は3年生になり、自分なりに一生懸命に練習するなど、努力を続けていました。

いよいよ3年生最後の大会「総体」が近づいてきました。しかし、チームの状態はあまりよくありません。というのも、総体を前にエースピッチャーがストライクが入らなくなり、練習試合でも負けがこんでいたからです。そのような中、ある日のバッティング練習で、バッティングピッチャーとしてT君が投げている時に、主力バッターたちから「T君のボールは打ちづらいです」という声が上がりました。確かに見ているとボールは速くないけれど、タイミングがとりづらく、あまりいい打球が飛んでいませんでした。

このような状況下、いよいよ市内総体が始まりま

した。1回戦ではやはり先発したエースピッチャーの投げたボールがストライクになりません。結果は2－7で完敗。その頃の野球の大会は敗者復活戦がありました。1回戦で負けたため、残り4試合に勝てば、伊丹市準優勝として阪神大会に進むことができます。つまり、4連勝しなければならなくなりました。さあ、2試合目の先発ピッチャーをどうするかと思案していたところ、T君のバッティング練習での快投を思い出しました。「エースピッチャーの代わりに、2試合目の先発はT君でいこう」と決断しました。

そうするとどうでしょう。3試合連続で相手チームを0点に押さえ込む完封勝利です。いよいよ4試合目。これに勝つと阪神大会へ進むことができます。対戦相手は1回戦で負けた相手が決勝で敗れて敗者復活戦にまわってきました。1回戦では大差で負けています。チームの緊張感はたいへんなものでした。しかし、結果は5－0の大差での勝利。準優勝で阪神大会へ進むことができました。T君の4試合連続の完封勝利。見事な快投でした。

阪神大会に進んでからは1回戦には勝ったけれども、連投の疲れからか残念ながら2回戦で僅差負けしてしまい、ベスト8に終わりました。目の調子が悪く高校では野球を続けたいと言っていたが、卒業後は地元の公立高校で3年間ピッチャーを務め、3年生では主将も任せてもらいました。

私がT君から学んだことは、あきらめずに一生懸命練習すると、その成果があらわれるということです。今しんどい状況にある人も、努力さえ続けていれば、いつどこで好転するかわかりません。ぜひ、今行っている努力を継続してください。

～卒業記念品

ありがとうございます～

卒業記念品として「時計」をいただきました。時計は登校時や部活動時、休み時間などに多くの生徒が見て行動します。早め早めの行動「5分前行動」の徹底もできそうです。3年生のみなさん、保護者の皆様ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。



・何もしなければ失敗はしないけど、得るものもない

高校3年生の時、一時休学し、受験も控えていたので不安な毎日を送っていました。そんな時に先生から一言。苦手だと思って逃げていても何も始まらないと思い直すことができました。



ホームページを日々更新中！！

先生からもらった一言（Ⅳ）

引き続き、インターネットから拾った「先生からもらった一言」について書きます。ぜひ、みなさんもこれらの「一言」を励みとして、日々の生活を送ってください。

・友だちの悪いところじゃなく、良いところを見つける楽しみを持ちなさい

中学生の時、友だちの文句ばかり言っていた私に先生がかけてくれた言葉です。最初は難しかったけれど、人のいいところを見つけ出したら楽しくなり、人間関係も良くなりました。

・逆境は、人としての真価が問われる時

大学を卒業して教師になる時に、先生がくれた言葉です。思いも寄らなかった学校で、落ち込んでいた私を励ましてくれました。この言葉を支えに、その場所で教師としてのスタートを切り、今も教職を続けられています。